



**横浜みなとみらいホール
こどもの日コンサート
「中学生プロデューサー」事業報告書**

2025年12月

横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

はじめに

横浜みなとみらいホールでは2000年以来、毎年5月5日に「こどもの日コンサート」を開催しています。観客の主なターゲットは未就学児～小学生とその家族で、開始から20年以上、ホールのスタッフが企画制作にあたっていました。

しかし、鑑賞対象である子どもたちにもっと「自分ごと」としてこのコンサートを感じてほしい、という意図から、2021年、プロデューサーに子どもたちを起用するプロジェクト「中学生プロデューサー」を立ち上げました。

本プロジェクトは、子どもの「1日お仕事体験」といった一過性のものではなく、公募で集まった約20名の中学生たちが、半年以上かけてコンサートの制作・運営に関するノウハウを、プロフェッショナルなスタッフから学びます。中学生たち自らが公演の企画書を書き、経費の支出までを考え、プログラム構成、進行台本、チラシの制作、パンフレットの文書の作成、会場の受付、舞台裏の運営、出演者との打ち合わせなど、コンサート制作に付随するすべての業務を中学生が中心となって進め、大人が適宜サポートするというものです。

「中学生プロデューサー」プロジェクトの目的は大きく二つ、①子どもたちが、社会には多種多様な仕事があり、たくさんの人たちが支え合い協力して公演が作られていることを学ぶ。②大人たちが、中学生たちの自由な発想から刺激を受け、日頃の業務を学びほぐす unlearn の場になる。

これらの目的を達成することによって、コンサートという場が「社会化」され、子どもたちと大人たちに、より良い「行動変容」をもたらすきっかけになることを目指しています。

音楽の魅力を伝えることや音楽に携わる人材を育成することはもちろんですが、むしろ音楽はきっかけにすぎず、「コンサートをつくること」を通して、思考力をはぐくみ、社会性を身につけることにつなげたい。もっと平たくいえば、他者への思いやりをもって行動する人間を形成するための行動変容を、音楽を通してつくることができたらと願っております。

横浜みなとみらいホール
館長 新井鷗子

実施概要(1~6期生)

実施年	期間	参加者人数	備考
2021年度 (第1期)	2021年3月27日(土)~ 2021年5月5日(水祝) *振り返り:5月22日(土) *新型コロナの影響により5/4・5は 活動中止(5/5は鑑賞のみ)	42名 中学1年生 13名 中学2年生 21名 中学3年生 8名	横浜みなとみらい ホール休館中
2022年度 (第2期)	2022年1月15日(土)~ 2022年5月5日(木祝) *振り返り:5月25日(水)	27名 中学1年生 5名 中学2年生 7名 中学3年生 15名	横浜みなとみらい ホール休館中
2023年度 (第3期)	2023年1月8日(日)~ 2023年6月3日(土)	30名 中学1年生 4名 中学2年生 18名 中学3年生 8名	
2024年度 (第4期)	2023年12月16日(土)~ 2024年6月15日(土)	20名 中学1年生 4名 中学2年生 4名 中学3年生 12名	
2025年度 (第5期)	2024年12月22日(日)~ 2025年6月21日(土)	21名 中学1年生 6名 中学2年生 5名 中学3年生 10名	
2026年度 (第6期)	2025年12月13日(土)~ 2026年6月6日(土)	22名 中学1年生 4名 中学2年生 10名 中学3年生 8名	現在活動中

プログラム

“中学生プロデューサー”は、公募で集まった中学生が、ホールスタッフをはじめとするプロと共に、選曲や広報活動などの事前準備、さらには当日の会場運営やお客様のおもてなしまで、公演制作に関わるあらゆる仕事に携わる当ホール独自の取り組みです。全体の流れのほか、「企画」「広報」の2つのチームに分かれて「こどもの日コンサート」の準備を進めていきます。(初年度～2023年度は「企画」「広報」「プログラム」の3チーム)

本番までひとつおりの制作業務を経験した後は、有志のメンバーが翌年の公演の企画立案に携わるサイクルが生まれています。

また、2021年の開始以降、これまで中学生プロデューサーのアイデアから、来場者参加型コーナーや、中学生自らが演奏する開演前のロビーパフォーマンスなど、来場者に公演をより楽しんでいただく様々な企画が生まれました。中学生ならではの新鮮な感性が光る公演となり、子どもたちが公演の制作を通して社会活動を学ぶ場として、2025年で5年を迎えました。

1、プログラム *進行は各年度により異なる

業務内容・施設の説明	こどもの日コンサートについて、コンサートを企画・制作するため必要なことや、中学生プロデューサー活動の内容についての説明。初顔合わせの場ともなるので、2024年度よりアイスブレイクも実施。 また、横浜みなとみらいホールについても理解を深めるため施設の説明や館内ツアーを実施。
メドレー選曲	こどもの日コンサートオリジナルメドレーの選曲会議を行う。5曲程の構成で、流行のポップス系の曲とクラシックが並ぶ中学生ならではの選曲が特徴。
曲順(構成)検討	前年度の中学生プロデューサー有志が決めた曲目の曲順(構成)を検討。構成作家の講義を受けたうえで、MC位置など全体の構成を考えながら曲順を決める。
広報について	デザイナーや新聞記者、ラジオアナウンサー等を講師に迎え、広報活動の基礎知識や取材の流れ、記者の心構え等を学ぶ。広報チームのメンバーは、公演の魅力を発信するSNSの文案作成や近隣施設とのタイアップ企画等販促も担う。
レセプションの仕事	現役のレセプションからレセプションの仕事について座学と実践で学ぶ。言葉遣いやお辞儀の仕方、チケットもぎりなどを実践し、本番に向けて練習を行う。
舞台スタッフの仕事	舞台スタッフから、舞台スタッフの仕事について学ぶ。舞台・音響・照明それぞれの仕事を知るだけでなく、演出アイデアにもつなげていく。
当日進行について	当日のスケジュールや担当する仕事内容を確認。企画チームが中心となり考えた構成台本の流れを共有し、中学生プロデューサーとして最終確認を行う。
リハーサル・前日準備	楽器搬入や舞台セッティング、楽屋の準備などの裏回りと、チラシ挟み込み作業等、表回りの準備を行う。リハーサルへの参加・見学、指揮者、司会者と舞台監督、舞台・制作スタッフの打合せにも数名参加。
本番	裏方の制作・舞台スタッフと、表方のレセプション担当に分かれて、業務を担当する。2公演のうち、必ずどちらかはお客様として場内で公演を聴き、お客様の反応や場内の様子を把握する。
振り返り	公演終了1か月後を目安に、振り返りの会を実施。良かったことや反省点を共有し、翌年につなげていく。



2、各チームの流れ

企画	主に曲の構成、演出アイデア、当日進行案の作成を担当。MC で伝えたいことや中学生プロデューサーオリジナルコーナーの内容検討(2024 年度より)、照明演出などを考える。
広報	主にプログラムの作成、広報活動(取材対応やブログ・SNS 等での発信活動の記録撮影)を担当。プログラム作成では、台割から原稿作成まで手掛ける。

■企画

- ・構成台本の作成…全体の進行案検討・演出アイデアの検討・MC 原稿作成
- ・出演者・舞台スタッフとの打合せ参加
- ・「中学生プロデューサーによるオリジナルコーナー」の内容検討(2024 年度より)

■広報

- ・チラシ・プログラムの作成
- ・SNS(X・Instagram)・ブログの原稿作成
- ・活動中の記録写真の撮影
- ・取材対応
- ・チラシ配布先の検討
- ・ホール周辺施設との連携案検討

■プログラム(2023 年度まで)

- ・デザイナーとの打合せ
- ・台割の検討
- ・曲目解説等、原稿の作成
- ・校正作業
- ・来場者へのおみやげ作成(2021・2022 年度)

3、前日・本番の流れ

制作	楽屋のセッティング、ケータリング準備、楽屋口での出演者入館対応など
舞台スタッフ	楽器搬入、舞台セッティング、立ち位置の確認作業、合唱団の誘導など
レセプション	チラシ挟み込み作業、お客様のご案内(チケットもぎり、ホワイエでの案内等)など
ロビーパフォーマンス担当	ロビーパフォーマンス進行、パワーポイント操作など



すべて©藤本史昭

4、その他

2021年の開始以降、これまで中学生プロデューサーのアイデアから、来場者に公演をより楽しんでもらう様々な企画が生まれました。

来場者参加型コーナー (2022年度～2025年度)	<ul style="list-style-type: none"> ■ボディパーカッション 2022年度／モーツァルト：トルコ行進曲 2023年度／モーツァルト：トルコ行進曲 2024年度／ビゼー：歌劇《カルメン》より 第1幕への前奏曲 ■楽器や歌、手拍子にて演奏に参加 2025年度／池辺晋一郎：こどもたちとオーケストラのための協奏的マーチ〈さかさかさ〉
ロビーパフォーマンス (2023年度～2025年度)	中学生プロデューサーの有志自らが演奏する開演前のロビーパフォーマンス(10分程度)。2階客席ホワイエにて実施。
来場者プレゼント (2021年度～2022年度)	中学生プロデューサーがデザインに携わる来場者プレゼントを実施。 2021年度 クリアファイル 2022年度 マスクケース
オリジナル	2回目公演のみで実施する、中学生プロデューサーオリジナルコーナー(約10分)

<p>コーナー (2024年度～ 2025年度)</p>	<p>分)。企画チーム中心に中学生プロデューサーが内容を一から考え、出演者の協力を得て実施。司会進行も中学生プロデューサー自らで実施。</p> <p>■【楽器紹介】音の高い楽器と低い楽器(チェレスタ、トロンボーン、チェロ、ファゴット)を使用して、音の高さクイズを通じて楽器紹介。(2024年度) ■【楽器紹介】パイプオルガンのストップ(音色を選ぶ機構)に楽器をモチーフにした音色があることに着目し、実際の楽器(トランペット、コントラバス)とパイプオルガンの演奏を交互に聴かせ、音色を通じた楽器紹介。(2025年度)</p>
<p>衣装演出 (2024年度～ 2025年度)</p>	<p>公演のテーマに合わせた衣装を指揮者やプロデューサーが着用。</p> <p>2024年度 魔法使いの帽子 2025年度 コック帽</p>
<p>「威風堂々」歌詞 作成(2025年 度)</p>	<p>2025年度の演奏曲目「エルガー:行進曲〈威風堂々〉第1番」の日本語歌詞を中学生プロデューサーが考え(予め「友情と希望」というテーマを与え)、児童合唱で披露した。</p>



すべて©藤本史昭

各回概要

2021年度(第1期)

1、実施概要

横浜みなとみらいホール休館年。初めての中学生プロデューサーの取り組み。コロナ禍にも関わらず、多くの申し込みがあった(定員10名/応募40名強)。コロナの影響で講義内容・日程も大きく変動。基礎的なことは職員によるレクチャー映像(全5回/YouTube配信)を事前に視聴し、現地とZoom参加を併用しながら4回の講義を実施した。

新型コロナウイルス感染症の広がりを受けて、公演当日、運営スタッフ担当を中止(4月後半に決定)。ただし、計画をしたものを鑑賞しチェックすることがとても重要であることを伝えていたので、33人がお客様として鑑賞した。

2、スケジュール、内容、講師

■2021年3月9日(火) *プレ活動(希望者のみ)

内容:「こどもの日コンサート2021 オリジナルメドレー」選曲会議

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

岩村力(指揮者)、山下康介(作曲家)、新井鷗子(館長)

会場:オンライン(Zoom)

■2021年3月27日(土)

内容:オリエンテーション/広報活動について

① 自己紹介

② 今回のコンサートについての説明と、事前課題の解説

③ 現時点でのコンサート制作の進捗状況(動画での内容を踏まえながら)

④ チケットの販売状況の共有と広報活動について

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:PLOT48

■3月29日(月)

内容:プログラム制作について

講師:ヤナキヒロシ(デザイナー)、横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:PLOT48

■4月10日(土)

内容:構成台本作

・構成台本中の一枠(中学生プロデューサーの曲が入るところの前後)のMC原稿を考える。

講師:横浜みなとみらいホール館長 新井鷗子

場所:PLOT48

■4月24日(土)

内容:①レセプション講習 ②当日に向けての説明、当日の役割分担決め

講師:横浜みなとみらいホールレセプション経験者 佐々木、石川、徳永、荒井

場所:横浜赤レンガ倉庫1号館

■5月4日(火・休)リハーサル視察と準備 ……コロナ予防のため活動中止

■5月5日(水・祝)本番……新型コロナ感染症拡大防止のため活動中止 *希望者の公演鑑賞

■5月22日(土)

内容:中学生プロデューサー活動振り返り

場所: オンライン(Zoom)

参加人数:22名

■8月3日(火)ー5(木)

内容:2022年公演に向けての企画会議 *有志参加

場所:PLOT48

参加人数:13名

3、こどもの日コンサート2021 公演概要

公演名:こどもの日コンサート2021 オーケストラと世界の国を旅しよう

日時:2021年5月5日(水・祝)

① 13:00~14:00(12:30 開場) ②16:30~17:30(16:00 開場)

会場:神奈川県立青少年センター 紅葉坂ホール

料金:全席指定 小学生~高校生 1,000円 一般 2,000円

出演:岩村力(指揮)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団(オーケストラ)

萩原緋奈乃(Vn・1回目)、若生麻理奈(Vn・2回目)、岩崎里衣(司会)

赤い靴ジュニアコーラス、横浜少年少女合唱団 ※映像での共演



曲目: V.マッコイ(オリジナル編曲:岩井直博/オーケストラ編曲:山下康介):アフリカン・シンフォニー

韓国民謡(編曲/山下康介):アランより

源田俊一郎 編曲:ふるさとの四季より「ふるさと」「春の小川」「村祭」「もみじ」「雪」

A.ボロディン:歌劇『イーゴリ公』より だったん人の踊り

ヴェニヤフスキ:華麗なるポロネーズ第2番 イ長調 Op.21(1回目)

ヴェニヤフスキ:華麗なるポロネーズ第1番 ニ長調 Op.4(2回目)

J.ブラームス:ハンガリー舞曲 第5番

山下康介編曲:こどもの日コンサート2021メドレー

「スターウォーズ」「紅蓮華」「香水」「廻廻奇譚」「《四季》より<春>」

米津玄師(編曲/山下康介):パプリカ

入場者数:①335名 ②352名

主催:横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

協力:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

後援:横浜市教育委員会

4、中学生プロデューサー振り返り

◎中学生プロデューサーが作ったプログラムや構成台本が、実際に読まれていたり、お客さんが聴いていたりするのを目にして、自分が担当した訳ではないけれど達成感を感じた。

◎思ったより音が大きくて、すぐに演奏会が終わった。メドレーの紹介の時に自分の左後ろ辺りに座っていた女の子が「わあー！」と喜んでいて、「幅広い年齢の人に楽しんでもらう」ことについて、プロデューサーを経験して考えるようになった。

◎参加しているメンバー一人一人が役割を担っていく、ということを経験出来てよかった。一人一人が責任を持ち、試行錯誤しながら作ったコンサートは聴いていても眠くならなかったし、やりがいを感じた。隣の席に座っていたお父さんが合唱で泣いていた。

2022年度(第2期)

1、実施概要

横浜みなとみらいホール休館年。神奈川県立音楽堂での開催のため、オーケストラ編成を絞り、児童合唱団もお休みということで計画した回となった。

テーマ「モーツァルトは 国境を越えて 時代を越えて」。事業テーマと主な曲目は前年度の中学生プロデューサーが決定し、オリジナルメドレーの選曲や曲順構成の検討、参加型コーナーの検討は当該年度の中学生プロデューサーが受け継ぎ実施するスタイルの初回。ホールプロデューサーの藤木大地や作・編曲家の山下康介など、多彩な講師を招いての取り組みとなった。今後の実施カリキュラムの基本線となっていく回となった。

中学生プロデューサーの研修会場としては、横浜みなとみらいホールが休館中だったこともあり、通りを挟んで向かい側に開設された京セラみなとみらいリサーチセンター(2019年度5月開設)をお借りして実施。京セラみなとみらいリサーチセンターが期待している、地域のコミュニティでの創造的な活動や交流を進める取り組みの一例にもなった。

2、スケジュール、内容、講師

■2022年1月15日(土)

内容:オリエンテーション/「公演をプロデュースする」とは?

講師:藤木大地(カウンターテナー/横浜みなとみらいホールプロデューサー2021-2023)

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■1月29日(土)

内容:「こどもの日コンサート2022 オリジナルメドレー」、ボディパーカッション選曲会議

講師:山下康介(作曲家)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団スタッフ、横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■2月19日(土)

内容:構成台本の作成について

講師:横浜みなとみらいホール館長 新井鷗子

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■3月19日(土)

内容:配布プログラムの作成について

講師:ヤナキヒロシ(こどもの日コンサートチラシデザイナー)、横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■4月10日(日)

内容:①レセプション講師講習 ②当日に向けての説明

講師:横浜みなとみらいホールレセプション 佐々木、石川、荒井

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■4月23日(土)

内容:①舞台スタッフの仕事について ②当日に向けての説明

講師:横浜みなとみらいホール舞台スタッフ(株式会社東京舞台照明) 品田、秋山

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■5月4日(水・祝)リハーサル視察と準備

■5月5日(木・祝)本番

■5月25日(水)

内容:中学生プロデューサー振り返り

場所: オンライン(Zoom)

参加人数:14名

■7月6日(水)、7月28日(木)、7月29日(金)

内容:2023年度公演に向けての企画会議 *有志参加

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

参加人数:11名

3、こどもの日コンサート2022公演概要

公演名:こどもの日コンサート2022

モーツァルトは国境を越えて、時代を超えて

日時:2022年5月5日(木・祝)

② 14:00~15:00(13:20開場) ②16:30~17:30(15:50開場)

会場:神奈川県立音楽堂

料金:全席指定 4歳~中学生 1,500円 高校生以上 2,500円

出演:岩村力(指揮)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団(オーケストラ)

岩崎里衣(司会)

曲目 :モーツァルト:セレナード第13番ト長調「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」K.525より

第1楽章 アレグロ

すぎやまこういち:『ドラゴンクエストIII』より「序曲:ロトのテーマ」

モーツァルト:交響曲第40番ト短調 K.550より 第1楽章 アレグロ・モルト



【ボディーパーカッション】モーツァルト(山下康介編曲):ピアノ・ソナタ第 11 番イ長調 K.311 より
第 3 楽章「トルコ行進曲」
ハイドン:交響曲第 101 番ニ長調「時計」より 第 2 楽章 アンダンテ
山下康介編曲:こどもの日コンサート2022メドレー
「銀河鉄道 999」「アンダー・ザ・シー」「パイレーツ・オブ・カリビアン」「群青」「イエスタデイ」
ZARD(山下康介編曲):負けないで

入場者数:①795 名 ②797 名

主催:横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

共催:横浜アーツフェスティバル実行委員会

協力:神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター

後援:横浜市教育委員会

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

4、中学生プロデューサー振り返り

◎思ってたより任されて、自分たちが作り上げている感じがした。自分の人生の中でこんなに達成感があったのは初めてだった。

◎子供たちで意見を出し合い、それが実際に形に出来るというのは滅多に無い機会だったので、新鮮味や達成感があり楽しかったです。

◎最初は今後の自分の部活動に活かしたい、という目標でしたが、最後の方はただただこのコンサートを成功させたい、という思いで頑張りました。結果として、目標であったことを学べたのはもちろん、参加しなきゃ得られないものも学びました。

◎去年はできなかった舞台裏のスタッフができたのがとてもうれしかったし、思い出に残りました。レセプションリストとして、会場に来るお客様の対応を通し、経験のできないことを多く学べたので楽しかったです。

◎初めは、緊張していたけれど、学年を超えて、様々な意見・視点を知ることができ、良い機会になったと思います。本番は、たくさんのお客様が、コンサートを楽しんでいらっやったのを見て、とても嬉しかったです。

2023年度(第3期)

1、実施概要

横浜みなとみらいホール再開後、初の横浜みなとみらいホールで開催。

「ただいま！さあ次なる冒険の旅へ」の事業テーマと主な曲目は前年度の中学生プロデューサーがつくり、当該年度のメドレーは今年度中学生プロデューサーがつくった。

ロビーでの演奏を実施したいという中学生の意向を受けて、「一流奏者の演奏を近くで聴くステージとは異なる感動を」という意見や「自分たちのおもてなしの気持ちを自分たちで演奏することで実現する」など議論が白熱した回となった。

この 2 年間、休館やコロナ禍のために叶わなかったオルガンの演奏や、児童合唱が活躍出来るプログラムになり、お客様からも大変好評だった。

2、スケジュール、内容、講師

■2023年1月8日(日)

内容:オリエンテーション、横浜みなとみらいホールについて、「こどもの日コンサート」について

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:レセプションルーム

■1月22日(日)

内容:「こどもの日コンサート2023 オリジナルメドレー」選曲会議

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■2月26日(日)

内容:構成台本の作成について

講師:横浜みなとみらいホール館長 新井鷗子

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■3月18日(土)

内容:配布プログラムの作成について

講師:ヤナキヒロシ(こどもの日コンサートチラシデザイナー)、横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■4月8日(土)

内容:①レセプショニスト講習 ②当日に向けての説明

講師:横浜みなとみらいホールレセプショニスト 佐々木、高野瀬、荒井、富澤

場所:レセプションルーム

■4月23日(土)

内容:①舞台スタッフの仕事について ②当日に向けての説明

講師:横浜みなとみらいホール舞台スタッフ(株式会社東京舞台照明) 品田、河田、岩崎、星野

場所:レセプションルーム、大ホール

■5月4日(水・祝)リハーサル視察と準備

■5月5日(木・祝)本番

■6月3日(土)振り返りの会

場所:レセプションルーム

参加人数:21名

■7月15日(土)、7月16日(日)、7月22日(土)

内容:2024年度公演に向けての企画会議 *有志参加

場所:横浜みなとみらいホール、京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター(22日)

参加人数:17名

4、こどもの日コンサート 2023公演概要

公演名：こどもの日コンサート2023

ただいま！さあ、次なる冒険の旅へ

日時：2023年5月5日(金・祝)

① 13:00~14:00(12:20 開場) ②15:30~16:30(14:50 開場)

会場：横浜みなとみらいホール 大ホール

料金：全席指定 4歳~高校生 1,500円 一般 2,500円

《1回目(13:00~14:00)限定》

0~3歳のお子さま無料(先着140名)

出演：岩村力(指揮)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団(オーケストラ)
岩崎里衣(司会)、近藤岳(オルガン)、
横浜少年少女合唱団・赤い靴ジュニアコーラス(児童合唱)

曲目：シルヴェストリ(ライネ編曲)：バック・トゥ・ザ・フューチャー
ロッシーニ：歌劇《ウィリアム・テル》より〈序曲：スイス軍の行進〉
J. S. バッハ：主よ、人の望みの喜びよ
【ボディーパーカッションコーナー】W. A. モーツァルト：トルコ行進曲
SEKAI NO OWARI(山下康介編曲)：炎と森のカーニバル
山下康介 編曲：こどもの日コンサート 2023 メドレー
「新時代」「人生のメリーゴーランド」「トップガン・アンセム」「ミックス・ナッツ」「イツ・ア・スモール・ワールド」
C. -M. シェーンベルク(山下康介編曲)：ミュージカル《レ・ミゼラブル》より〈民衆の歌〉

入場者数：①1,628名 ②1,675名

主催：横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

協力：神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター

後援：横浜市教育委員会、ボディーパーカッション教育振興会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



5、中学生プロデューサー振り返り

◎とても貴重な体験だったと思います。きっと私たちだけじゃ成し遂げられなかった事もたくさんありましたので、協力・サポートをしてくださったスタッフの方、レセプションの方等々、感謝してもきれないです。

◎卒業メンバーの意思を継ぎつつ、継続メンバーとニューフェイスとともに一からコンサートを作り上げることの厳しさと楽しさを改めて学びました。

◎当日の感動と達成感が強く、自然とまたやりたいと思いました。自分に満足していないところはあったが、仕事がスムーズにいったこと、関係者に大きな支障がなかったこと、そして何よりコンサートが無事に終わったことが嬉しく、お客さんに聞いてもらうっていうことは、自分自身が演奏していなくてもこんなにも達成感と喜びを味わえたのは、初めてです！

◎たくさんの方の決まらせていただき、より良いコンサートを作れるように力を合わせられたと思っています。課題など大変なこともありましたが、それ以上に本番は素晴らしいものになったので良い経験になりました。

◎コンサート鑑賞が好きでこの企画に参加しましたが、私が今まで見てきたコンサートで感動を味わえるのは、沢山の方達のおかげなんだと改めて実感することができました。

◎「良かったよ。」という肯定的な第一声を全員が述べてくれた一方で、少し切り込んで正直な感想を聞きだすと「最悪だったね。」「限界なんだろうね。」「やらなきゃいいのにね。」などという否定的な意見があったことにも直面した。特に残念だったことは、“中学生プロデューサーの存在や企画主旨の良さが全く理解されていないこと”と”ゲストはパイプオルガンとオーケストラ演奏が子どもと聴ければ満足で、それ以上は望んでいない”という現実だった。(中略)活動を通して、少なくとも主体性に欠ける集団からは、今後も良い企画は生み出されないと思うし、ゲストが望む最低限(プロの演奏を聴く)に応えるくらいしか発展できないのだと痛感した。クラシック音楽が“いいね!”と思っているゲストがより深く音楽を楽しむ環境を整えるためには、中学生プロデューサーが振り返って反省することよりもホールスタッフの情熱の方向性を再確認することの方が比較にならないほど必要だと思った。

2024年度(第4期)

1、実施概要

横浜みなとみらいホールで開催。

「オーケストラの魔法で冒険へ！」の事業テーマと主な曲目は前年度の中学生プロデューサーがつくり、中学生メドレーは今年度中学生プロデューサーが作った。ベートーヴェンの合唱付きやドヴォルザークの新世界など、クラシックの王道曲も紹介するプログラムとなった。中学生が活躍するコーナーを作り、どの楽器が最高音、最低音を出すことが出来るかのクイズを実施、楽器の紹介も兼ねることが出来てとても好評だった。

中学生プロデューサーの意向で、ロビーパフォーマンスは中学生自身が実施する形での開催になった。この回より横浜市教育委員会を定年退職された高橋先生に中学生プロデューサー全体の活動についてのアドバイザーとして関わっていただいた。

2、スケジュール、内容、講師

■2023年12月16日(土)

内容:オリエンテーション、「こどもの日コンサート」について、業務内容の説明

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■2024年1月14日(日)

内容:曲順決め(メドレー等)

講師:横浜みなとみらいホール館長 新井鷗子、日本テレビ放送網株式会社 齋藤政憲

場所:レセプションルーム

■1月21日(日)

内容:「こどもの日コンサート2024 オリジナルメドレー」選曲会議、「横浜みなとみらいホール」について

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:レセプションルーム

■2月24日(土)

内容:広報について(取材にあたってのロールプレイング)

講師:神奈川新聞文化部記者 下野綾、横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■3月16日(土)

内容:「こどもの日コンサート 2024」当日の進行について

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:レセプションルーム

■4月7日(日)

内容:①レセプションニスト講習 ②当日に向けての説明

講師:横浜みなとみらいホールレセプションニスト 佐々木、高野瀬、荒井

場所:レセプションルーム、大ホールホワイエ

■4月20日(土)

内容:①舞台スタッフの仕事について ②当日に向けての説明

講師:横浜みなとみらいホール舞台スタッフ(株式会社東京舞台照明)

場所:レセプションルーム、大ホール

■5月4日(土)リハーサルと準備

■5月5日(日・祝)本番

■6月15日(土)振り返りの会

場所:レセプションルーム

参加人数:14名

■7月25日(水)、7月31日(水)、9月28日(土)

内容:2025年度公演に向けての企画会議 *有志参加

場所:横浜みなとみらいホール、京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター(22日)

参加人数:8名

4、こどもの日コンサート 2024公演概要

公演名:こどもの日コンサート2024 オーケストラの魔法で冒険へ!

日時:2024年5月5日(日)

① 13:00~14:00(12:20開場) ②15:30~16:40(14:50開場)

会場:横浜みなとみらいホール 大ホール

料金:全席指定 4歳~高校生 1,500円 一般 2,500円

《1回目(13:00~14:00)限定》

0~3歳のお子さま無料(60名限定、エリア限定)

出演:岩村力(指揮)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団(オーケストラ)

岩崎里衣(司会)、近藤岳(オルガン)、

横浜少年少女合唱団・赤い靴ジュニアコーラス(児童合唱)



曲目：J. ウィリアムズ：ハリー・ポッターと賢者の石 ヘドウィグのテーマ

A. ロイド＝ウェバー：ミュージカル《オペラ座の怪人》より オーヴァーチュア

チャイコフスキー：バレエ音楽《くるみ割り人形》より《花のワルツ》

ビゼー：歌劇《カルメン》より 第1幕への前奏曲 ※ボディパーカッション

ドヴォルジャーク：交響曲 第9番《新世界》より 第4楽章(抜粋)

こどもの日コンサート 2024 メドレー

「スターウォーズメインテーマ」「RAIN」「美しい鱈」「バレエ音楽《くるみ割り人形》より《金平糖の踊り》」「ホールニューワールド」

ベートーヴェン：交響曲 第9番《合唱付き》より 歓喜の歌(抜粋)

入場者数：①1,726名 ②1,760名

主催：横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

協力：神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター

一般社団法人ボディパーカッション教育振興会

後援：横浜市教育委員会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業[地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業]) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

5、中学生プロデューサー振り返り

◎誰かがミスをしてしまっても、その倍くらいの人があるフォローをする、カバーをする場面が多くあった。

◎オーケストラが演奏するまでの間に多くの苦労があって、それを知り体験できたのが良かったです。舞台上で演奏する人達だけでなく、見えないところでたくさんの方がよりよい演奏のために動いていることに改めて気づけた。

◎みんなが納得して案を決めることができて良かった。

◎発言するひと、全くしない人でわかれた。全員発言し易いやり方を考えたい。

◎学年が違うからといって怖気づくことなく発言できてよかった。中三として、経験者として、まわりに気を配れたと思います。またみんなと協力して良いものを作ることができたと思います。

◎コンサートには多くの方が関わっている。普段は見えない裏の仕事の大切さに気付けた。お客様が最初に会おうのがレセプションなので、お客様を第一に考えることの大切さ。

◎お客様が望んでいることを読み取って臨機応変に対応する大切さ。

2025年度(第5期)

1、実施概要

横浜みなとみらいホールで開催。

「音楽のレストランへ ようこそ！」の事業テーマと主な曲目は前年度の中学生プロデューサーがつくり、中学生メドレーは今年度中学生プロデューサーがつくった。構成(曲順)を決める会議では様々な意見が飛び交い、3時間に及ぶ白熱した議論の末に最善のプログラムが組まれた。今年度の中学生が活躍するコーナーは、パイプオルガンの楽器名のストップと、オーケストラの本物のオーケストラの楽器との「音色」を比較する企画。楽器の音色の紹介も出来て、お客様もとても反応がよく、中学生の発想の豊かさを感じ

じた。今年度の中学生プロデューサーも、ロビーパフォーマンスは中学生自身が演奏・実施する形での開催。演奏のクオリティを上昇させるため、ロビーパフォーマンスの準備を早めに開始。本番まで、ホール以外で練習を重ねた。

また、〈威風堂々〉の日本語歌詞の作成にも中学生プロデューサーが挑戦し、「こどもの日コンサート」ならではの歌詞を披露した。

2、スケジュール、内容、講師

■2024年12月22日(日)

内容:オリエンテーション、「こどもの日コンサート」について、業務内容の説明

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■2025年1月12日(日)

内容:「こどもの日コンサート2025 オリジナルメドレー」選曲会議、「横浜みなとみらいホール」について

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:レセプションルーム

■1月18日(土)

内容:曲順決め

講師:横浜みなとみらいホール館長 新井鷗子、日本テレビ放送網株式会社 齋藤政憲

場所:レセプションルーム

■2月15日(土)

内容:広報について(取材にあたってのロールプレイング)

講師:神奈川新聞文化部記者 下野綾、横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター

■3月15日(日)

内容:「こどもの日コンサート2025」当日の進行について

講師:横浜みなとみらいホールスタッフ

場所:レセプションルーム

■4月5日(土)

内容:①レセプションリスト講習

②当日に向けての説明

講師:横浜みなとみらいホールレセプションリスト 佐々木、富永、山下

場所:レセプションルーム、大ホールホワイエ

■4月20日(日)

内容:①舞台スタッフの仕事について ②当日に向けての説明

講師:横浜みなとみらいホール舞台スタッフ(株式会社東京舞台照明)

場所:レセプションルーム、大ホール

■5月4日(日)リハーサル視察と準備

■5月5日(月・祝)本番

■6月21日(土)振り返りの会

場所：レセプションルーム

参加人数：19名

■7月20日(日)、8月5日(火)、8月19日(火)

内容：2026年度公演に向けての企画会議 *有志参加

場所：レセプションルーム

参加人数：15名

4、こどもの日コンサート 2025公演概要

公演名：こどもの日コンサート2025 音楽のレストランへ ようこそ！

日時：2025年5月5日(月・祝)

① 13:00~14:00(12:20 開場) ②15:30~16:40(14:50 開場)

会場：横浜みなとみらいホール 大ホール

料金：全席指定 4歳~高校生 1,500円 一般 3,000円

《1回目(13:00~14:00)限定》

0~3歳のお子さま無料(60名限定、エリア限定)

出演：阿部未来(指揮)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団(オーケストラ)

岩崎里衣(司会)、近藤岳(オルガン)、

横浜少年少女合唱団・赤い靴ジュニアコーラス(児童合唱)

曲目：G. ロッシーニ：歌劇《ウィリアム・テル》序曲より〈スイス軍の行進〉

A. メンケン：《美女と野獣》より〈ビー・アワ・ゲスト(Be Our Guest)〉

E.エルガー：行進曲〈威風堂々〉第1番

L. ヴィエルヌ：ウエストミンスターの鐘

tuki.:晩餐歌

寺島尚彦：野菜サラダ物語

こどもの日コンサート 2025 オリジナルメドレー

「おもちゃの兵隊のマーチ」「パプリロ」「ルパン三世のテーマ」「ライラック」「キッチンオーケストラ」「《指揮》より〈春〉」

池辺晋一郎：こどもたちとオーケストラのための協奏的マーチ〈さか・さかさ・かさ〉

入場者数：①1,585名、②1,518名

主催：横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

協力：神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター

後援：横浜市教育委員会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業[地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業]) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



5、中学生プロデューサー振り返り

◎皆が熱意を持って取り組んでいて、学校と違い納得いくまで話し合えた。お互い納得いくまで話し合うと、とてもいい案が生まれる！

◎大人数の前で話をする自信が持てた。

◎まわりと協力して意見を出し合って決めることにやりがいを感じた。お互いに声をかけあって行動することがとても楽しいと感じた。

◎意見を言うだけでなく、他人の意見をしっかりきいて、そこから良いものを作ることができた。ひとつのコンサートを作るのに、本当に色々な人がいて、みんなが成功させようと同じ熱量でやっていて素敵だなと感じた。

◎人と話をするのがあまり得意ではない自分だったが、関わってくれたスタッフのひととたくさん話すことができ自分自身が少し成長できたと思います。

◎学んだことも多くあり、自分のやりたいことが見つかりました。

◎大人も中学生も一人一人に役割があって、1人でもいなかったらもしかして完成度が低かったかと思うとすごくやりがいを感じた。

◎お客さんが笑顔で楽しかったねと言ってるところを見て、今まで頑張ってきたかいがあったと感じました。

周囲の声

■お客様(アンケートより)

- ・ロビー等で頑張る中学生の姿に、これから成長する我が子が重なり胸が熱くなりました。
- ・中学生の皆さんが自信を持って舞台に立たれていて頼もしかったです。きっと事前の準備は大変だったでしょうし、当日も裏方の方も含め沢山の仕事があったかと思いますが大成功でしたね。
- ・中学生プロデューサーとの事で大いに楽しみにしておりました。内容もさることながら、中学生の対応に感銘を受けました。
- ・ロビーイベントや中学生プロデュースの方の演出は楽しめました。
- ・毎年中学生の頑張りが見えて良い企画であり、毎年来ている子供も中学生になったら参加してみたいと言っています。
- ・中学生プロデュースの企画運営ということで、小学生の娘もお姉さんお兄さんの活躍に憧れるかな?と思い参加しました。
- ・j-popも選曲されていたのは中学生プロデューサーがすごくいい仕事をしていると感心しました。

■出演者

演奏するプログラムも含め、一つの演奏会の企画運営を中学生が意見を出し合い、決定し、実行していくという中学生プロデューサーの取り組みは大変素晴らしいと思います。職場体験、様々な仕事を体験するプログラムは、私が中学生の頃からありましたが、一つの演奏会を終えるところまでという範囲での取り組みは、大変貴重な体験だと思います。我々大人が考えつかないような事、また自由な発想での選曲、企画を進めていく様子は、私自身大変刺激と気付きになりました。演奏者として感じた点としては、企画の段階で演奏者側から、舞台上での体感、経験などを中学生プロデューサーの皆さんにお伝えする機会が、もう少しあっても良いかと思いました。

これから事業を進めていくにあたり、様々な課題が出てくるかと思いますが、柔軟で自由な発想を、更に羽ばたかせて頂けたら嬉しいです。

(2025年度指揮 阿部未来さん)

オトナでは思いつかない新鮮、時には斬新な発想・アイデアで、素晴らしいコンサートを作ってくれている中学生プロデューサーたち。私が話す台本のセリフも彼らが書いてくれたたてものです。

回を重ね、メンバーは変わってはいるものの、経験値が増えてきたことで、台本も、他の面もブラッシュアップされてきているのを感じています。

また、仕事は山ほどあるのに、さらにプレコンサートの企画、演奏まで！そのバイタリティ、行動力にも目を見張りました。

得意なことだけでなく苦手な分野にも果敢にチャレンジする姿、お互いをフォローし助け合う姿などを目の当たりにし、いくつもの場面でジーンと来てしまいました。

こんな貴重な経験を、学校生活だけでなく、それぞれの人生でどんな風に活かしていくのか、彼らの将来がとても楽しみです。

中学生に戻れるなら、私も中学生プロデューサーをやってみたいなあ。

(司会 岩崎里衣さん)

■講師

中学生プロデューサー活動に携わって感じたこと

初めはお互いがほとんど知らない同士でしたが、回を重ね討議するごとに関係性が深まっていく姿が見られました。演奏会に関わる多くの専門家と出会うたびに意識と表情が変わり、特に前日リハーサルや本番での真剣な表情は感動的でした。聴衆からは見えないスタッフの動きの重要性を知り、一つ

の演奏会を作り上げるための膨大な準備や大勢の力を結集する必要性を体験的に学んだことは、間違いなく一人ひとりの宝物になったことでしょう。

(中学生プロデューサーアドバイザー 高橋実さん)

これまで多くの中学生にレセプションの研修を受講いただきました。大人のような接遇マナーや敬語など、中学生にとっては未知の世界だったかもしれませんが、皆さん一生懸命取り組み、熱心に練習して下さいました。これからを担う世代の方々に私達の仕事を知っていただき、実際に体験していただけた事はありがたく、この中から将来のレセプションが誕生する事に期待せずにはられません。

(レセプション講師 佐々木千春さん)

■スタッフ

中学生音楽プロデューサー5年目突入おめでとうございます！お隣に来たことでご縁をいただき、ありがとうございます。毎年感じるのですが、最初は生徒さんはお互い様子を見ながら恐る恐る発言しだすのですが、見る見るうちに打ち解けて、春になると真剣に意見を出し合い活性化していくさまに驚きを覚えます。そして活動が広がった今ではOB・OGのおかげで最初から活性化している様子が見て取れ、うれしい限りです。楽器や歌など、演者ではなく裏方を支えるこういった取り組みがこれからの音楽の街・横浜を活性化してくれることを願っております。

(京セラ株式会社 研究開発本部 オープンイノベーション推進部 大崎哲広さん)

中学生プロデューサーの皆さんは、本番前までにテーマに沿った選曲、曲順(構成)、そして台本案作りまでを、皆さんと話し合いながら決めていきます。決まるまでは、いろいろな意見が出てきます。我々大人と違い発想が豊かで関心することがあります。とても大事なことで、考え方に柔軟性と可能性をととても秘めていると感じます。それを大切に今後に生かして欲しいと思います。そして、横浜みなとみらいホールに戻ってきた2023年からこのコンサートに関わり、2023年はコロナ禍での開催でしたが、無事に終わられた時の皆さんの笑顔が忘れられません。

(舞台監督 関 尚弘さん)

担当者振り返り

「こどもの日コンサート」を、こどもたち自身が企画する。単純な構図です。が、横浜みなとみらいホールの5月5日を飾り、大人が楽しい仕掛けをたくさん盛り込んできたクオリティの高い「こどもの日コンサート」は2000年からの歴史があり、公募の「中学生プロデューサー」が企画を出すという挑戦を始めて、早いもので5年がたちました。

5年間でのべ140名を越える「中学生プロデューサー」がほぼ一年にわたる活動をプロデューサーとして体験しました。活動の内容は記載のとおりですが、その中でも重要なことは、反省会を経て、夏休みに3-4日間集まって、来年の演奏会の骨子を作り上げて、全ての活動が終了すること。PDCAサイクルを中学生から体験することになります。

中学生プロデューサー発案の「多くのファミリーに楽しんでもらえる企画」を、指揮者の岩村力さん、阿部未来さん、司会の岩崎里衣さん、オルガンの近藤岳さん、みなトラ(みなとみらいホール・マスコットキャラクター)、オーケストラの神奈川フィルハーモニー管弦楽団の奏者一人一人、そしてレセプションистやステージなどのスタッフ、総勢100人の大人の「こどもの日コンサート」本番にかける意気込みに大きな変容を与えたように思います。その影響は、関係者の言葉から明らかです。

この5年間で「こどもの日コンサート」鑑賞者数は、2025年で12,171人となりました。中学生らしいJ-POPの選曲が、アンケートでも良い評価を得られています。また、必ず売り切れる訳ではないからこそ、企画チームも広報チームも、毎年熱心な議論が重ねられ、中学生も成長します。

「中学生プロデューサー」が経験を活かし、ほかの横浜の企画に参加する取り組み(「横浜音祭り2022」で、反田恭平さん監督による「横浜みなとみらいホール25周年音楽祭」への参加が一度ありました)が今後の課題の一つです。この課題を成功させることが出来れば、横浜みなとみらいホールの次世代育成事業の価値をさらに高めることにつながります。横浜みなとみらいホールの魅力を高める「中学生プロデューサー」との挑戦は、まだ大いに可能性を持っています。

横浜みなとみらいホール 事業企画グループ
チーフプロデューサー 菊地健一

中学生プロデューサー事業が始まって、早くも5年が経ち、私が中学生プロデューサーに携わって約3年になるが、毎回毎回の活動に中学生たちからの発言や発想力に驚かされることがある。大人が思っている以上のことを考えており、何も恐れることがないからこそその自由な意見やアイデア、自分の意見を相手に伝える強さ、ときには相手の意見を尊重し受け入れる姿勢等、中学生という世代の柔軟さをとても感じる。多感な時期である中学生たちの意見を尊重しながら、各回の活動を進めまとめていくファシリテート、横浜みなとみらいホール開館以来続く名物公演「こどもの日コンサート」を中学生プロデューサーとともに制作し成功に導くプレッシャーなど、担当として悩むことも多かったが、それ以上に毎年彼らと一緒に進めることで得ることも多く、私たち大人にとっても学びの場であることを実感している。

中学生プロデューサーたちは毎年初回の活動では、まだお互いに緊張している様子が見受けられるが、回を重ねるごとに打ち解けていき、仲間としての団結力も生まれ意見も活発になっていく。中学生プロデューサー参加者にリピーターが多い年は、リピーターのメンバーがうまく引っ張っていき、新規メンバーが多い年は、全体の団結力が強いように感じる。毎年参加者が違うので、カラーも違うが、年数を重ねるごとに中学生プロデューサーたちのアイデアによる新しい企画も生まれ、公演に新しい風を吹かせてくれている。そして、公演を終えたあとの中学生プロデューサーの充実した表情、ホールが自分たちの居場所のように感じてくれていることに、とても嬉しく思う。コンサート制作を通して、多くの人が協力してつくり上げていること、自分の意見だけでなく相手の意見も受け入れながら進める大切さ、などを子どもたちが学び、約半年の活動だが内面の変化を感じるの、彼らのこれからに繋がっていくことを願う。

横浜みなとみらいホール 事業企画グループ
プロデューサー 白川美帆